

### 日本の少子化対策について考える

医療法人社団明芳会 板橋中央病院 副院長  
一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会 副理事長  
高橋 昌里

少子化対策は30年以上にわたって日本国の課題となってきた。しかし岸田内閣に至るまでの歴代内閣は口では“国難”と言いながら本腰を入れることはなかった。そして少子化対策の目的が専ら年金の支払者の減少といった論点で報道され、経済力、国力の低下、社会インフラの維持困難、世界における存在感の低下、社会活力の低下など、すでに内閣委員会調査室から提示されている多くの問題について踏み込んだ議論は報道されてこなかった。

その一方、少子化について、むしろ縮小均衡すべきという“有識者”の意見を、そのプロセスにおける社会のサステナビリティを議論せずに報道するマスメディアも多く見られた。このことは言説に対するマスメディアのcriticismの劣化を示しているように思える。

ところで日本国の理念は憲法前文に示されているとおり「平和主義、民主主義、基本的人権の尊重、国際協調、社会正義の追求」である。そして少子化対策の目的を考えると「人口減少による社会・経済的な影響を軽減し、持続可能な（日本の）社会を実現すること」ということができる。つまり少子化対策は国家を維持するためのミッションと言える。そしてそのミッションを達成するためにこれまでいくつもの戦略（政策）が打ち出されてきた。その中で確かに子育て支援に関しては次第に整備されてきた。しかし晩婚化対策や非嫡出子の支援、カナダで行われているNobody's Perfectのような“親育て”といった対策はまだまだである。そろそろ少子化対策というミッションに対する戦略のすべてを一度整理し、効果を評価して公表すべきではないか。BSCに例えるならばそれぞれの戦略に関する戦略マップや重要成功要因、KPI、到達目標、アクションプランといった政策実現プロセスについて明らかにするということである。高橋淑郎前理事長はカナダ・オンタリオ州の保健行政でBSCが有効に機能すると報告をしているが、日本では行政のBSCは進んでいない。これについては行政の成果が予算の執行実績により計られ、米国の成果と業績結果に関する法令（GPRA: Government Performance and Results Act）のような評価基準がないことによるという指摘があるがまさにその通りだと思う。

（次ページに続く）

少子化対策の経済効果は年金の負担という先の長い話ではない。妊娠した時点から新たな需要・消費の増加が始まるのである。妊婦が必要な物品、赤ちゃん、こどもが必要な物品は多種多様であり、それらは時を待たずに消費という形でお金を回してくれるはずである。つまり受胎からはじまって成人するまでの支出は一人当たり年間50～150万円に上り、それが経済を回す動力となるからである。そして多くのこどもは新し知識を学習し、成長して成人となり生産人口に加わるということになる。したがって有効な少子化対策はそれ自体がローリスク・ハイリターン投資と言えるのではないだろうか。その点で国債は少子化にこそ発行されるべきであり、同時に行政の成果を判定する評価基準の刷新も進めるべきである。

## 1. 今後の予定

---

### コンテンツ部会について

#### 広報委員会 広報コンテンツ部会から活動内容についてお知らせ

(文責)大幸 淳

本部会は高橋前理事長が、医療BSCの「学び直し」の提案と「学会員増強」の一環として、紙媒体とWEB媒体で医療BSCをより広く知ってもらうために、活性化を図るプロジェクトとして生まれました。紙媒体は、「薬局」(南山堂)から昨年5月から12月号まで連載しました。「月刊保険診療」(医学通信社)では、昨年7月スタートして本年6月まで連載が続きます。「看護展望」(メディカルフレンド社)では、昨年4月と12月号でBSC特集を組み、本年は1月から1年間連載しています。今回ご報告するのはWEBでの広報です。

安定した新規学会員の獲得を目指し、広報委員会の下部に所属する部会という形で2022年4月より活動を開始しました。2か月に1回程度会合を開き、これまでに大きく2つのコンテンツの立ち上げを計画し、早い段階での公開に向け準備を進めています。

ひとつはBSCを聞いたことがある程度の若い世代の医療従事者を対象に、直感的かつ手軽にアクセスできる動画コンテンツを作成します。コンテンツは同世代の学会員が正統な医療BSCのポイントを解説する形とし、YouTube上でHBSC channel(仮称)を立ち上げ公開することで、学会ホームページへのアクセスへ繋げる取り組みとします。もうひとつは学会ホームページの閲覧が学会参加への動機づけに繋がる仕組みとして、HBSCに関連した講義を理事の先生方に動画撮影していただき、学会員限定で閲覧できるコンテンツを作成する取り組みです。この2つのコンテンツにより、HBSCに興味のある医療従事者の掘り起こしと、学会参加への動機づけを行うことができると考えております。

その他にも学生会員の新設や、学会員からの質問に対し専門家からアドバイスが受けられる制度の新設などのアイディアが出されており、効果的な対策を行いながら学会員の増加に繋げていきたいと考えております。多くの学会員の先生方に、ご協力を仰ぐことになろうかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 1. 今後の予定

---

### ① 2023年度事業計画について

#### 【年間スケジュール】

- ・ BSCファシリテーション講座  
日時 : 2023年7月23日(日)  
会場 : 日本経済大学6号館
- ・ BSCワークショップ / 認定指導者研修実技編  
日時 : 2023年10月21日(土)~22日(日)  
会場 : 日本経済大学6号館
- ・ 認定指導者試験  
日時 : 2023年12月9日(土)  
会場 : 日本経済大学6号館

※ 開場は変更する可能性があります。  
最新情報・申込み等詳細は、ホームページにて、ご確認下さい。

### ② 第20回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会

テーマ : 「 事務部門の参謀力強化

～次世代の病院経営を担う中核的専門人材を目指して～ 」

大会長 : 北海学園大学 経営学部 教授 関谷浩行

開催日 : 2023年8月25日(金)

(※ 詳細は最終ページをご覧ください)

### ③ 令和5年度 個人・賛助会費納入のお願い

2023年度年の請求書(振込用紙)を郵送しております。お早めにご納入いただきますようお願いいたします。ご納入いただけない場合、定款第9条2項により、会員資格を喪失いたしますのでご注意ください。

## 2. 理事会報告

---

### 第11回理事会報告

2023年3月7日(火)に第11回理事会が開催された。主な審議内容は、2023年度事業計画、予算、新社員、新理事・監事について審議がなされた。最終承認は社員総会でとなる。また、2022年の各委員会の活動報告、第19回学術総会報告、第20回学術総会進捗報告がなされた。

第20回学術総会は、北海学園大学 関谷浩行教授が学術総会会長となり、2023年8月25日(金)同大学豊平キャンパスにて対面での開催予定である。学術総会最新情報、2023年度の主な活動については随時ホームページにて公開いたします。ご確認のほどよろしくお願いいたします。

今後の予定: 理事会2023年6月6日(火)、社員総会2023年6月27日(火)



## 次期日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学術総会会長を拝命して

### 第20回日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学術総会会長 北海学園大学 経営学部 教授 関谷 浩行

第20回日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学術総会会長を拝命しました北海学園大学の関谷と申します。学会のニュースレターに寄稿させていただく機会を頂戴しましたので、誌面をお借りまして次期学術総会のご案内をさせていただきます。

第20回の学術総会は2023年8月25日(金)、北海学園大学豊平キャンパスにて対面形式で開催いたします。北海学園大学は、開拓間もない北海道の社会的要望に応じて1885年に創設した北海英語学校を起源として、1952年に誕生した北海道における最初の私立大学です。本学は北海道内企業の出身大学別社長数が第1位(885人)です。また、国家公務員一般職(行政)の合格者数は、北海道・東北地区の私立大学で第1位(全国で16位)になるなど、北海道のひいては日本の産業を支えるような、社会的要請に応えうる人材を輩出しております(順位は大学案内2022年度より引用)。

さて、今回の学術総会のテーマは、「事務部門の参謀力強化～次世代の病院経営を担う中核的専門人材を目指して～」とさせていただきました。バランスト・スコアカードの運用をはじめ、病院経営を支援するうえで重要な役割を果たすのが事務職員の方々です。

民間企業では近年、インタンジブルズ(無形の資産)である人的資本経営が注目されており、人的資本の情報開示や投資戦略などの議論が盛んに行われております。これまでの常識が通用しないVUCA(ブーカ=変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)時代において、病院経営の意思決定や戦略の実行を支える事務部門の優れた参謀としての力がより一層求められています。今回の学術総会では事務部門の参謀としての役割に焦点を当てて存分に議論したいと思っております。

学術総会の開催時期は、例年と異なり8月の平日開催とさせていただいたため、皆様にはご迷惑をおかけすることになり誠に申し訳ございません。また、懇親会につきましては、新型コロナウイルスが5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行されますが、未だ終焉を見通すことができず、繰り返し押し寄せる波を前に不安な日々が続いているため、開催しない運びとなりました。

本学会が開催される豊平キャンパスは札幌都心に近く、地下鉄東豊線さっぽろ駅から6分で到着します。下車駅は学園前駅、出口直結という大変アクセスしやすい場所がございます。夏の北海道にはジンギスカン・魚介・メロン・アイス・ビールなどの魅力ある食べ物や美しい観光地など楽しみがたくさんあります。魅力あふれる北の大地、北海道で皆様のご参加をお待ちしております。